

(霧島市)

わが子を働かせたくなる魅力ある職場へ！
『従業員の皆さんの子ども達が働きたいと思える魅力的な職場環境を目指します。』

当社では、地面に埋設されている水道管から各家庭の蛇口までをつなぐ給水システム商品の製造を行っています。銅合金を溶かして形にする鑄造から機械加工、組立に至るまで全ての工程を社内にて有し、お客様の要望に合わせた新商品の開発をスピーディに行っています。

現在、「仕事と家庭の両立」をテーマに、トヨタ生産方式をベースとした職場改善(働き方改革)を展開、『将来、わが子を働かせたくなるような魅力ある職場をつくろう!』を合言葉に、小さな改善をコツコツ積み重ねながら、理想の実現に向けて邁進しています。

会社概要

2024年1月1日現在

■所在地	〒899-4317 鹿児島県霧島市 国分上野原テクノパーク11番8号
■TEL	0995-45-1523
■FAX	0995-45-6433
■E-Mail	kt-contact@kyusyu-tabuchi.co.jp
■URL	http://ai120nboj5.smartrelease.jp/

■代表者	代表取締役社長 鶴ヶ野 未央
■設立	1970年(昭和45年)4月
■資本金	5,000万円
■従業員数	172人
■事業概要	給水システム関連商品の開発・製造
■主要製品	継手・止水栓・サドル分水栓 等



会社ロゴ

競争力の源泉となっている鑄造技術

当社は、鑄造から組立に至るまでの一貫生産体制が構築できている点に加え、型・治工具や設備まで自社製作が可能な生産準備の技術を持っている点が強みです。特に鑄造工程においては全国でも数少ない全自動注湯ラインを有し、2種類の材料を用いた銅合金を並行生産することで、日本トップクラスのコスト競争力と生産量を誇ります。現在、作業環境改善・設備保全活動とともにより効率の良い生産を求め、競争力のある職場環境づくりに努めています。



国内トップクラスの青銅鑄物技術

他社に負けない『対応力(改善力)』の追求

モノ造りのレベルを客観的に評価していただく機会として、日本IE協会が主催する改善事例発表大会にも積極的に参加しています。近年ではモノ造り革新が進むモデル企業であると評価していただき、招待企業として事例発表する機会も増えたことで、当社の改善活動のレベルが上昇してきていることを実感しています。

この改善活動こそが我々製造業における原動力だと認識し、若手リーダーの育成の場も兼ねて社内で最も力を入れている取り組みとなっています。



地道な改善こそが成果につながる

少数精鋭で確かな実績を積み上げてきた生産技術

これまで社外に手配していた金型や治工具制作に関するノウハウの蓄積やリードタイム短縮を目的に2007年に生産技術部門を設け、製造準備・新製品立上げに関する生産技術力を高めてきました。

現在では金型・治工具や試作品の設計・製作に限らず、自動化に向けたロボット・加工設備の設計製作やAI・IoT技術の活用など常に先進的な視点で当社のものづくりを支える、当社としてなくてはならない部門に成長してきています。



生産革新を実現する技術力